



諏訪小だより



富士見市立諏訪小学校

令和7年9月18日 学校だより NO. 7

校長 石井 勝博

認め・励まし・褒める教育

2学期が始まり、もうすぐ1カ月がたとうとしています。

夏休み前から始めた音楽会に向けての練習が来週の音楽会に向けての学年練習となり、体育館には大きな歌声や演奏が響いています。暑さの影響もあり、今年から音楽会と運動会の時期を入れ替え、エアコンの効いた涼しい体育館で練習しています。

来週9月27日(土)に行われる音楽会、たくさんの保護者の皆様の参観をお待ちしています。

毎日、最低2回は、全学級を周り子供たちの学習の様子や休み時間の様子を見るように努めています。

子供たちが一生懸命考えている姿、進んで発表する姿、友達と話し合っている姿、とっても素敵だなと思っています。また、先生方から「いいね!」「いい姿勢」「いい考えだね」と、褒める言葉もたくさん聞こえてきます。「なるほど! いっぱい げんき! いっぱい えがお! いっぱい」の子供たちを育てるために、「認め・励まし・褒める」教育を心掛けています。

しかし、叱ることもあります。先生方には、「ダメなことはダメ」と指導するよう伝えていますが、まだまだ小学生、自分の欲求が優先してしまい自分勝手な行動をとってしまうこともあります。そんなときは、よりよい行動をとるよう指導しています。

ご家庭において、子育てに困っているようなことがあれば担任にお知らせください。学校と家庭が一体となって子供を育てていくことがとても大切だと思いますので。学校で指導に困っている場合には、相談させていただきますのでご理解ご協力をお願いいたします。

【東京世界陸上をテレビで観戦して】

私自身も陸上競技に携わっていたこともあり、1991年東京世界陸上のとき、国立競技場で男子100mの王者カール・ルイスを応援していたことを懐かしく思い出します。

さて、先日行われた男子3000m障害の三浦龍司選手がメダル圏内に付けながらも、最後の水ごうでバランスを崩すとともに他の選手と接触してしまい惜しくも8位でした。レース後の取材で、バランスを崩したことや接触したことを人のせいにするのではなく「競技の特性」と強調していました。メダルのかかった大きな大会で、人のせいにするのではなく前向きに対応する姿勢に心を打たれました。

9月11日(木)の下校時、1、2年生におきましては、大雨の中での下校となってしまう申し訳ございませんでした。家に到着した頃には、ビショビショの状態となってしまう、お着替えなどご家庭で対応していただいたことに感謝いたします。

今後も天気予報を注視しながら的確な判断ができるよう努めて参りますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。